

ものづくり分析評価技術研究会 会員募集

-赤外分光・テラヘルツ分光の基礎とアプリケーション-

ものづくりの現場では、紫外光や赤外光など波長領域の異なる様々な光が、製品開発や品質管理などの分析に活用されていますが、どのような場合にどの波長領域の分析装置を選択するかは技術者を悩ませるところです。令和元年度に発足した本研究会は、府内中小企業の技術者の皆様に現場で生きる系統的な分光分析技術を学んでいただく場として、分光分野のトップランナーによる講演と分析装置の操作実習を行っています。発足より4年目を迎える今年度は、最も汎用的な分光技法である『赤外分光法』に改めてフォーカスするほか、次世代通信規格の到来に向けて近年注目を集める『テラヘルツ分光法』をテーマとして実施します。ぜひご参加ください。

※コロナ感染拡大防止の観点から、講演はオンサイト及びオンラインによるハイブリッド方式にて開催します。（使用ツールはZoomを予定しています。）

■ 内 容 (予定)

【講 演】

■ 赤外分光編 (初級・中級者向け)

第1回 「赤外分光法の基本」

日 時 : 令和4年9月27日 (火) 13:00~17:00

講 演①: 『赤外分光法の基礎と最近の動向』尾崎 幸洋氏 (関西学院大学)

講 演②: 『振動分光法』森澤 勇介氏 (近畿大学)

第2回 「赤外分光法の測定とスペクトルの解析」

日 時 : 令和4年10月21日 (金) 13:00~17:00

講 演①-1: 『赤外分光装置について』右近 寿一郎氏 (株)右近工舎)

講 演①-2: 『赤外分光法の測定テクニック』鈴木 康志氏 (株)島津製作所)

講 演② : 『スペクトル解析の基礎』尾崎 幸洋氏 (関西学院大学)

■ テラヘルツ分光編 (初級者向け)

第3回 「テラヘルツ分光法の基本」

日 時 : 令和4年11月25日 (金) 13:00~17:00

講 演①: 『遠赤外・テラヘルツ・低波数ラマンの関係』尾崎 幸洋氏 (関西学院大学)

講 演②: 『テラヘルツ分光法について』谷 正彦氏 (福井大学)

第4回 「テラヘルツ分光法の測定と応用」

日 時 : 令和4年12月13日 (火) 13:00~17:00

講 演①: 『テラヘルツ分光の測定と応用』北原 英明氏 (福井大学)

講 演②: 『高分子のテラヘルツ分光』佐藤 春実氏 (神戸大学)

【講演 タイムスケジュール】

13:00~13:05	開会
13:05~14:25	講演①
14:25~14:35	(休憩)
14:35~15:55	講演②
15:55~16:05	質疑応答
16:05~16:10	閉会・事務連絡
16:10~17:00	操作実習会

【操作実習会】

- ▶会場受講者のうち希望者を対象として講演終了後に京都府中小企業技術センターで開催します。（事前予約制）
- ▶第1回・第2回の操作実習会はFT-IR・第3回・第4回にはテラヘルツ非破壊検査装置について実施します。
- ▶オンライン参加者を対象とする操作実習会は別途日程を調整したうえで開催します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて主催者の判断により中止することがあります。



◎フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)

メーカー: (株)島津製作所 IRPrestige-21

測 定: 透過/反射/ATR法など

測定範囲: 4000~400cm⁻¹



◎テラヘルツ非破壊検査装置

メーカー: (株)アドバンテス TAS7500TS

測 定: 透過/反射/ATR/イメージングなど

測定範囲: 0.1~4THz/0.5~7THz

■ 研究会座長

尾崎 幸洋氏 (関西学院大学名誉教授・フェロー)

赤外・ラマン・近赤外・遠紫外・遠赤外・THz分光など、多岐に亘る分子分光学の基礎と、それらの物理化学、分析化学への応用をご専門とされ、これまでも多数の論文を発表。日本分光学会会長としてご活躍されたほか、紫綬褒章の受章をはじめ国内外の数々の科学賞も受賞されています。

ものづくり分析評価技術研究会

参加費

5,000円/名

※お申込後、参加費を請求させていただきますので、請求書記載の振込口座（（公財）京都技術科学センター宛て）にお振り込みをお願いします。（お振り込みに係る手数料等はお負担ください。）

定員

オンサイト20名程度/オンライン30名程度（いずれも先着順）

（オンサイト会場：京都府京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内）

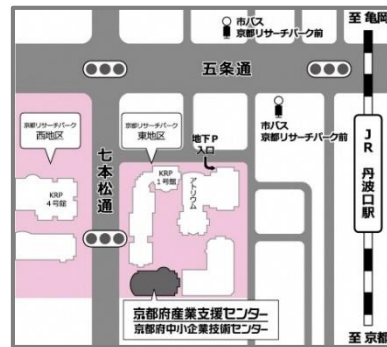
お問い合わせ・お申込先

京都府中小企業技術センター

基盤技術課 材料評価係

TEL：075-315-8633/FAX：075-315-9497

E-mail：zairyuu@kptc.jp



申込方法

▶HPからお申込の場合：https://www.kptc.jp/kenkyukai/2022_monodukuri_mou/

▶HP以外の場合：

以下の参加申込書に記入のうえ、メールまたはFAXで上記お申込先までご送信ください。

『ものづくり分析評価技術研究会』参加申込書

(FAX：075-315-9497)

○お申込時にご記入いただいた個人情報は、参加者名簿として活用するほか、今後当研究会主催者が実施する各種セミナー等のご案内を電子メール・メールマガジンや郵便により行うことがあります。

○お申込みにあたり、本研究会において配布する全ての資料に関して、主催者の許諾無く参加者以外への再配布・改変を行わないことに同意いただいたものとして取り扱います。

受講形式	※いずれかに○をご記入ください。 ※定員状況によりご希望に沿えないことがあります。		オンサイト（会場受講）・ オンライン
操作実習会	※オンサイト参加をご希望頂いた方で、操作実習会の受講を希望される場合にはいずれかの日程に○をご記入下さい。	FT-IR：	9月27日（火）実施回 ・ 10月21日（金）実施回
	※FT-IR・テラヘルツ非破壊検査装置のどちらかの受講も可能です。	テラヘルツ非破壊検査装置：	11月25日（金）実施回 ・ 12月13日（火）実施回
所在地 企業名	〒		
参加者	ご所属： お名前：		
電話番号			
E-mail			
参加費請求先	送付先： 宛 名：		